

サツマイモ基腐病のまん延を防ぐために

基腐病とは



初期発病株

農研機構生研支援センターイノベーション
創出強化研究推進事業(01020C)令和2年度版
マニュアル「サツマイモ基腐病の発生生態と防除対策」引用

・病原菌 糸状菌(カビの一種)

・寄主植物 主にさつまいも(ヒルガオ科のみ)



・症状

地際の茎が黒変し、茎葉は黄色や紫色に変色して、次第にしおれる。

茎葉が繁茂する時期には、ツルが黒色から黒褐色に変色し、地上部が枯死する。

発病株の芋は、主になり首側から腐敗する。



まん延を防ぐ3つのポイント

①基腐病菌を持ち込まない

地域ぐるみで、
取り組もう



- ・健全な種いも、苗の確保
- ・種いも、苗の適切な消毒
- ・ほ場で使った用具等の洗浄

輪作も考えよう



②基腐病菌を増やさない

- ・ほ場の排水対策
- ・発病株の早期発見
- ・発病株の抜き取り、持ち出し
- ・初期防除の徹底

③基腐病菌を残さない

- ・残さの持ち出し
- ・耕うんによる残さの分解促進
- ・適切な土壌消毒
- ・たい肥等の有機物施用

3つのポイントを合わせて行うことが大切です。

疑わしい株を見つけたら、最寄りの病害虫防除所・JA等に相談ください。
(裏面には植え付けから栽培・収穫までの対策を記載しています。)



ほ場（本ぼ）での基腐病菌の発生を抑えるためのチェックポイント

○ほ場の準備

○基腐病菌を持ち込まない対策

- ①ほ場を選ぶ
 - 前作で基腐病の発生がない（少ない）ほ場を選ぶ
 - 前作の残さがないことを確認
 - 必要に応じ、土壤消毒を実施
 - 前作で基腐病の発生がないほ場から作業し、使った用具は洗浄

○基腐病菌を増やさない対策

- ②地下排水を促進
 - サブソイラー等で耕盤を破砕
- ③表面排水を促進
 - 明きよとほ場外排水溝との接続を点検
 - 枕畝の除去又は一部を除去し排水溝をつくる



○苗の準備

○基腐病菌を持ち込まない対策

- ①採苗
 - 基腐病の発生がない種いもから生産された生育や色に異常がない苗を採取
 - 地際部から5cm以上で切り上げる
 - 苗消毒は、採苗当日に調製した薬剤を用いて実施
 - ハサミ等は、こまめに消毒
- ②購入苗
 - 基腐病の発生がないほ場で生産された苗を購入
 - 植え付け前に、必ず消毒を実施

😊ここがポイント

さつまいもの生産安定を図るためには、健全なほ場と健全な苗選びは、大切です。

植え付け

○栽培・収穫

○基腐病菌を増やさない対策

- ・ほ場の見回りは、こまめに実施
- ・定植5週目頃から、薬剤を散布
- ・疑わしい株を見つけたら、病害虫防除所やJA等に相談
- ・発病株は、速やかに抜き取り、ほ場外に持ち出して処分
- ・発病株除去後や豪雨、台風後の感染拡大を防ぐため薬剤を散布



農業は、使用基準に従って適切に使用してください。

○基腐病菌を持ち込まない対策

- ・ほ場で使った長靴、農機具等の洗浄



○基腐病菌を残さない対策

- ・発病残さは、畦や法面に放置せず、ほ場から離れた場所で適切に処分
- ・発病株が発見されたほ場は、早めに収穫し、貯蔵中の発病・腐敗に注意
- ・多発ほ場は、基腐病菌の密度を下げるため輪作や休耕を実施

